

映画

「カランコエの花」

上映会 & 教員トークイベント

「うちのクラスにLGBTの人がいるんじゃないか？」

周囲の過剰な配慮に翻弄される高校生を描いた映画「カランコエの花」。

上映後、SOGIE（性の多様性）についての授業を実践している先生

方をお招きし、“教育現場の今”についてお聞きします。

近年、社会課題としてメディアで多く取り上げられているLGBTQ+。

大切な人に、子どもたちに、あなたはどうか伝えますか？

いくつもの思いやりが、
ひとりの心に傷をつけた。

ただ、あなたを守りたかった。

カランコエの花

レインボー・リール東京 ～東京国際レズビアン&ゲイ映画祭～ グランプリ受賞

京都国際映画祭 コンタクト・イベント映画部門 グランプリ 新人監督映画祭 中編部門 グランプリ
横浜インディペンデントフィルムフェスティバル 中編部門グランプリ・ジャック&ベティ賞 TOKYO 月イチ映画祭 グランプリ
下北沢映画祭 観客賞・日本映画専門チャンネル賞 うすだ城下町映画祭 自主制作映画コンテスト 実行委員会特別賞 はままつ映画祭 観客賞 他

明石にじいろ
キャンペーン
2023



2024年 2月17日(土)

14:00 ~ 16:00 (13:30 開場)

明石市生涯学習センター 子午線ホール
(アスパシア明石北館 9F)

定員：150名(先着) 入場無料 申込方法は裏面参照
一時保育・手話通訳・要約筆記・日本語字幕あり

「うちのクラスにもいるんじゃないか？」

とある高校2年生のクラス。ある日唐突に『LGBTについて』の授業が行われた。しかし他のクラスではその授業は行われておらず、生徒たちに疑念が生じる。「うちのクラスにLGBTの人がいるんじゃないか？」生徒らの日常に波紋が広がっていき…思春期ならではの心の葛藤が起こした行動とは…？

当事者でなく周囲の目線で描く

近年社会問題としてメディアで多く取り上げられている「LGBT」。当事者を主とした恋愛や状況を描いた映画は国内外で多く発表されている中、それを“取り巻く周囲の人々”にフォーカスを当てることで、彼らの過剰な配慮によって翻弄されていく当事者を描いた今までにない視点の映像作品。また、それが観客に対するリアルなメッセージとして感動を与え、インディーズ映画祭でグランプリ含めた数々の賞を受賞。さらに今若手女優として注目度の高い今田美桜を主演に起用し、等身大の女子高生の心の動きを新鮮な演技で描いた点も見どころとなっている。



ただ、あなたを守りたかった。

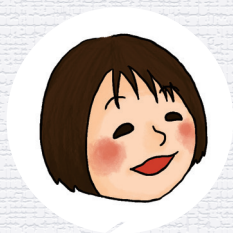
教員トークイベント登壇者



柳 淳也 さん

京都大学経営管理大学院 特定助教

大阪市立大学経営学研究科後期博士課程修了（経営学博士）。2014年に任意団体にじいろらいとを設立し、関西を中心にLGBTQに関する子ども向け授業や教員研修を実施。近年は、大学や企業でのダイバーシティ研修、自治体向けの職員研修などにも携わっている。単著に『揺さぶる経営学：LGBTQから問い直す企業の生産性』（中央経済社）。



ながみつ まき さん

東京都立小学校 教諭

2013年より、任意団体「りつにじ」（旧：多様性を目指す教員の会）の共同代表。2016年に絵本「りつとにじのたね」を自費出版（現在第4版）。性の多様性を尊重する授業づくりや講演活動等を学校や自治体などで行っている。2023年より大阪多様性教育ネットワークのメンバーとなる。

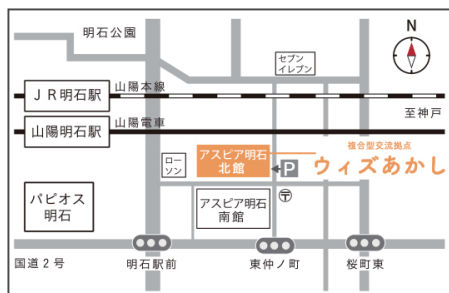


大西 修平 さん

明石市人権推進課 主任

夜間大学を卒業後、大阪市内の人権啓発団体に就職し、様々な人権問題とであう。そこで、「誰もが幸せに暮らせる社会を築きたい」そのために、「自分が出会った人から学んだことを子どもたちに伝えたい」という思いを抱き、小学校教員となる。現在は、人権推進課主任として、市内の各地域で、人権問題に関する講演会や研修会を実施している。

子午線ホール（アスパア明石北館9F）



参加希望の方は、電話・FAX・メール・QRコードにてお申し込みください。申込時に下記の①～⑤をお知らせください。

（先着順・定員 150 名・1 月 18 日（木）9 時より受付開始）

- ① 講演会名
- ② お名前（ニックネーム可）
- ③ お住いの市町村名
- ④ 電話・FAX 番号
- ⑤ 一時保育希望者は子どもの名前（ふりがな）、年齢

※対象：一歳半～就学前、先着 5 名、無料、保育申込締切：2 月 8 日



↑申込フォーム
はこちらから